

心一つに奏でる 福島フィルと本県の子ども

福島市のNPO法人ふくしま国際音楽祭のコンサート事業「ふくしまの子どもたち×福島・フィル」は29日、市内のとうほう・みんなの文化センター（県文化センター）で開かれプロのオーケストラと市内外の子どもたちが息の合った旋律を披露した。

東日本大震災後の心の復興に寄与しようと催した。プロの県内出身奏者でつくる福島・フィルハーモニックオーケストラ約30人と福島二中など小中高校の児童・生徒合わせて約200人が出演した。

このうちドボルザークの「新世界」第二楽章では、オーケストラと中学生選抜メンバーの演奏に合わせ川俣、梁川、福島東稜各高と福島大付属小の子どもらが「遠き山に日は落ちて」を歌い上げた。同第四楽章では同小、福島一中、蓬萊中の児童・生徒がオーケストラと協演した。久保田昌一さんが指揮した。

同オケは昨年「ふくしま復興祈念オーケストラ」の名前で初の演奏会を催している。

(2018/03/30 11:03 | カテゴリー：主要)



福島民報

2018年3月30日（金）



プロと協演し「新世界」第四楽章を奏でた子どもたち